

前期日程

教科
国語

(人文学部)

注意

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- 2 問題はページから七ページにわたっている。問題冊子が不備な場合は、直ちにその旨を監督者に申し出ること。
- 3 解答用紙は二枚で、問題冊子とは別になっている。解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入せよ。解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、評価(採点)の対象としない。
- 4 受験番号は、解答用紙二枚の受験番号の欄(各二か所)に記入せよ。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

実施年月日
3. 2. 25
富山大学

1

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

(長谷川眞理子「性差とジェンダー」より)

問1 傍線部(ア)・(ウ)・(オ)・(ケ)の漢字の読み方を平仮名で書き、(イ)・(エ)・(カ)・(キ)・(ク)の片仮名を漢字に直しなさい。

問2 空欄I～IVに入る語として最もふさわしいものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 一方 イ さらに ウ しかし エ そこで

問3 空欄a～mに入る語を次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 雄 イ 雌

問4 傍線部①「長い寿命は必要ではない」のはなぜか、六十字以内で理由を説明しなさい。

問5 傍線部②「その全貌は、まだ誰も明確にするにはいたっていないのである」とはどういうことか、「その」の指す内容が明らかになるように八十字以内で説明しなさい。

問6 傍線部③「現代社会のジェンダー関係を再考するのに、「生物学的性差」を否定する必要はないのである」というのはなぜか、その理由を六十字以内で説明しなさい。

問7 この文章は四節に分かれ、それぞれの節に次のようなタイトルがついています。それぞれの節のタイトルがどこから始まるか、A～Uの記号で答えなさい。なお、タイトルは五十音順に配列したもので、文章中の出現順と異なります。

1 狩猟採集民における性差とジェンダー

2 ヒトという動物

3 哺乳類の性差

4 有性生殖における雄と雌

問8 この文章の要旨を二百字以内で簡潔にまとめなさい。

次の文章は、鎌倉時代初期の成立とされる物語評論『無名草子』の一節で、ある邸の女房たちが歴史上の有名な女性について、さまざまな批評を語り合っている場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

「皇后宮、上東門院、いづれか今少しめでたくおはしましける」と言へば、「皇后宮、御みめもうつくしうおはしましけるとこそ。院も、いと御志深くおはしましける。失せさせたまふとて、

知る人もなき別れ路にいまはとて心細くも思ひ立つかな

夜もすがら契りしことを忘れずは恋ひむ涙の色ぞゆかしき……(a)

など詠ませたまふらむこそ、あはれにはべれ。後に御覽じけむ帝の御心地、まことにいかばかりかはあはれにおほしめされけむ。

さて、御わざの夜、雪の降りければ、

野辺までに心ひとつは通へども我がみゆきとは知らずやあるらむ……(b)

と詠ませたまへりけむも、いとこそめでたけれ。おはしまさぬ後まで、さばかりの御身に、御目も合はずおほしめし明かしけむほどなども、返す返すもめでたし。

また、中関白殿隠れさせたまひ、また、内大臣流されなどして、御世の中衰へさせたまひて後、かすかに心細くておはしましけるに、頭中将それがし参りて、簾のそば、風に吹き上げたるより見たまひければ、いたく若き女房の、清げなる、七八人ばかり、色々の単襲、裳、唐衣などもあざやかにてさぶらひけるもいと思はずに、今は何ばかりをかしきこともあらじ、と思ひあなづりけるも、あさましくおほえけるに、庭草は青く茂りわたりてはべりければ、『などかくは、これをこそ払はせておはしまさめ』と聞こえたまひても、宰相の君となむ聞こえける人、『露置かせて御覽せむとて』といらへけむこそは、なほ古りがたくいみじくおほえさせたまへ。

上東門院の御事は、よし悪しなど聞こゆべきにもあらず。何事もめでたきためしにはまづ引かれさせたまふ時なれば、とかく申すに及ばず。

③何事も御幸ひ極めさせたまふあまりに、御命さへこちたくて、あまたの帝におくれさせたまふこそ、口惜しくはべれ。そのたびに、いとあはれなる御歌ども詠ませたまひたるは、やさしくこそはべれ。

一条院隠れさせたまひて、

逢ふことも今はなき寝の夢ならでいつかは君をまたは見るべき

など詠ませたまへるも、いとめでたくこそはべれ。

(中略)

何事よりも、優なる人多くさぶらひけむこそ、いとど心にくくめでたくおぼえはべれ」と言へば、「その御妹おとらとの枇杷殿はどのの皇太后宮くわうたいこうぐうと聞こえさするにこそ、いと華やかに、もの好みしたる人々多くさぶらひけれ。大和宣旨やまとせんじもその宮の女房なるべし。折々の女房の装束しじやうぞく、打出うちいでなども、ためしなきほどに制を破り、女房の一品経供養いっぴんきんぐやうなどしけることも、いとおびたたくはべりけれ。

女院にようあんには、さばかり名を残したる人々さぶらひけれど、さやうのことなども、人の目驚くばかりはあらじ、とつつませたまひけむほど、さまざま、心の色々見えて、めでたくこそはべれ」

注 ○皇后宮——藤原定子(九七六—一〇〇〇)。藤原道隆の娘。一条天皇中宮、のちに皇后。

○上東門院——藤原彰子(九八八—一〇七四)。藤原道長の娘。一条天皇中宮。父の権勢により先に入内した定子を皇后にし、かわつて中宮となる。

○院——一条天皇。

○御わざ——御葬送。

○御目も合はず——お眠りにもなれず。

○中関白殿——藤原道隆。道長の兄。

○内大臣——藤原伊周。定子の兄。

○頭中将それがし——頭中将某。「それがし」は不定の人物を指す。

○宰相の君——定子づきの女房。藤原重輔の娘。

○御命——ご寿命。

○枇杷殿——藤原妍子。彰子の妹。

- 問1 傍線部(ア)・(イ)・(ウ)の敬語は、誰から誰に対する敬意を表すか、それぞれ答えなさい。
- 問2 (a)の和歌について、主語を明らかにしたうえで、口語訳しなさい。
- 問3 傍線部①において、語り手が「返す返すもめでたし」とする理由を(b)の和歌の内容を踏まえて説明しなさい。
- 問4 傍線部②について、指示語の内容を明らかにしたうえで、口語訳しなさい。
- 問5 傍線部③について、主語を明らかにしたうえで、口語訳しなさい。
- 問6 傍線部④の「人」、⑤の「人々」はいずれも上東門院に仕えていた女房らを指している。このうち代表的な人物の名前を漢字で書きなさい。
- 問7 語り手は上東門院について、どのような点を評価しているか、具体的に説明しなさい。

見本

教科
国
語

解(人
答文学部
用紙

受 験 番 号

受 験 番 号

得 点 欄 1

国 語 (人文学部)
得点欄
1

1															
問 8					問 7	問 6	問 5			問 4	問 3		問 2	問 1	
					1						k	a	I	(カ)	(ア)
					2						l	b	II		
					3						m	c	III	(キ)	(イ)
160	100	40			4	40		40	40			d	IV		
												e		(ク)	(ウ)
												f			
200	140	80	20			20	80	20	20			g		(ケ)	(エ)
												h			
												i		(コ)	(オ)
												j			
180	120	60				60		60	60						

見本

教科
国
語

(人文学部)
解答
用紙

受 験 番 号

受 験 番 号

得 点 欄 2

国 語 (人文学部)
得点欄
2

2						
問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
						(ウ) から
						(エ) から
						(イ) から